

太字部分が前回の通知からの主な変更箇所となります。

3 川健障施第 9 3 9 号
令和 4 年 1 月 3 1 日

市内

障害者支援施設

障害福祉サービス事業所等

障害児入所支援施設

障害児通所支援事業所 管理者 様

川崎市健康福祉局 保健所感染症対策課長

障害保健福祉部障害者施設指導課長

障害者福祉施設等におけるオミクロン株の患者の濃厚接触者の待機解除期間等について (その 2)

日ごろから、本市障害福祉行政に御尽力賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の影響により、本市モニタリングでは、新規陽性者数等の急速な増加がみられており、市内の複数の施設でクラスターが発生しているところでございます。

また、職員が陽性者や濃厚接触者となり、出勤できないことにより、施設の業務継続に支障が生じる状況も報告されております。

国は、別添 1「新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について」（令和 4 年 1 月 5 日付け（令和 4 年 1 月 28 日一部改正）厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡）により、障害者福祉施設等におけるオミクロン株の患者の濃厚接触者の待機解除期間等について取扱いを示しているところですが、本市としては、次のとおりの取扱いといたしますので、御確認の上、適切な対応をお願いいたします。

なお、感染拡大を防止するためには、基本的な感染対策及び職員の健康状態の把握の徹底を継続するとともに、定期的な検査を行うことで早期に感染を発見することが重要です。

つきましては、次の内容を確認し、利用者と従業者の安全を確保しつつ事業の継続と、感染拡大の防止に努めていただきますようお願いいたします。

オミクロン株の患者の濃厚接触者の取扱い

<令和 4 年 1 月 28 日まで>

- PCR 検査等の陽性者の濃厚接触者をオミクロン株の患者の濃厚接触者として取扱う。
- オミクロン株の患者の濃厚接触者の待機期間は、最終曝露日（陽性者との接触等）から 10 日間とする。

ただし、無症状であり、PCR 検査又は抗原定量検査を用いる場合は最終曝露日から 6 日目、抗原定性検査キットを用いる場合は 6 日目と 7 日目にそれぞれ検査を行い、陰性である等の要件を満たすことにより、10 日を待たずに待機解除とする。

<令和 4 年 1 月 29 日から>

- PCR 検査等の陽性者の濃厚接触者をオミクロン株の患者の濃厚接触者として取扱う。
- オミクロン株の患者の濃厚接触者の待機期間は、最終曝露日（陽性者との接触等）から 7 日間（8 日目解除）とする。

ただし、無症状であり、抗原定性検査キットにより、4 日目と 5 日目にそれぞれ検査を行い、陰性である等の要件を満たすことにより、5 日目から待機解除とする。

詳細は、上記事務連絡の「4. B.1.1.529 系統（オミクロン株）の流行状況に応じた対応について」

を参照ください。

なお、陽性者の療養解除基準等については、別添2「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて（一部改正）」（令和3年2月25日付け健感発 0225 第1号厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部戦略班生労働省健康局結核感染症課長通知）のとおりとなります。

ただし、無症状患者の療養解除基準については、検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除が可能となります。

なお、いずれの場合であっても、10日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認や、リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等の感染対策を徹底していただくようお願いいたします。

（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて）抜粋

第1 退院に関する基準

（1）人工呼吸器等による治療を行わなかった場合

① 発症日から 10 日間経過し、かつ、症状軽快後 72 時間経過した場合

② 発症日から 10 日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後 24 時間経過した後に核酸増幅法又は抗原定量検査（以下「核酸増幅法等」という。）の検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した 24 時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合

（略）

また、新型コロナウイルス感染症の無症状病原体保有者については、原則として次の⑤に該当する場合に、退院の基準を満たすものとする。ただし、次の⑥に該当する場合も退院の基準を満たすものとして差し支えないこととする。

⑤ 発症日から 10 日間経過した場合

⑥ 発症日から 6 日間経過した後に核酸増幅法等の検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した 24 時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合

発症日とは、患者が症状を呈し始めた日とし、無症状病原体保有者又は発症日が明らかでない場合については、陽性確定に係る検体採取日とする。症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあることとする。

（略）

第2 就業制限に関する基準

法第 18 条の「まん延を防止するため必要があると認めるとき」とは、新型コロナウイルス感染症患者又は無症状病原体保有者が就業しようとする場合とする。

なお、第1の退院に関する基準を満たす場合は、同条の規定の対象者ではなくなるものとする。

担当：高齢者事業推進課事業者指導担当

TEL 044-200-0082